

○計画期間：平成31年4月～令和6年3月（5年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和4年度終了時点（令和5年3月31日時点）の中心市街地の概況

認定基本計画に基づき、平成31年4月から、『誰もが輝き、「真の豊かさ、あずましさ」を実感できる街 —黒石ならではの魅力を磨くまちづくり—』をコンセプトに、「新たな拠点の創出により価値を高めるまちづくり」、「こみせとともに人と人とが共鳴するまちづくり」、「誰もが安心して集い、憩うあずましの空間のあるまちづくり」の3つの基本方針を掲げ、各種事業に取り組んでいる。

計画4年目の令和4年度は、新たな拠点施設整備として、中心市街地の旧大型商業施設（旧大黒デパート）跡地の利活用を図るための「市民サービス施設整備事業」において、「（仮称）市民サービス施設」の設計が完了し、令和4年12月に新築工事に着工した。

「市立図書館整備事業」では、令和4年5月31日に新築工事が完了し、令和4年7月1日にオープンを迎えた。オープン後は閉館時間の特別延長や市内学校への出張説明会などの図書館利用促進事業を行い、年間入館者数も目標の36,300人を超え44,318人（令和5年3月31日時点）となった。

また、「街なみ環境整備事業（景観の修復）」及び「伝統的建造物群基盤強化事業」等を継続して実施し、街中で実施される主要なイベントについても、開催方法を模索しつつ再開された。

認定基本計画に掲載した事業による効果は、新規大型ハード事業が完了する計画後期（令和5年度）に現れることを想定しており、計画4年目終了時点において目立った変化は見られないが、目標値の一つである「中心市街地内への新規出店数（令和元年度から令和5年度までの5年間の合計数15件）」は令和4年度終了時点で21件となり、当該目標値を超える成果を得ることができており、中心市街地の賑わい創出と交流人口増加を推進するための下地が整いつつある。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は徐々に薄れつつあるが、中心市街地活性化事業の進捗に及ぼす影響は大きく、今後も、地域と行政が一体となって引き続き、全ての目標値の達成を目指して、新型コロナウイルス感染症対策と経済活動を両立させながら、中心市街地活性化事業に着実に取り組んでいく。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) 居住人口

(基準日：毎年度12月31日)

（中心市街地 区域）	平成30年度 （計画前年度）	令和元年度 （1年目）	令和2年度 （2年目）	令和3年度 （3年目）	令和4年度 （4年目）	令和5年度 （5年目）
人口	2,120人	2,066人	2,000人	1,960人	1,948人	
人口増減数	△56人	△54人	△66人	△40人	△12人	
自然増減数	△32人	△23人	△31人	△34人	△27人	
社会増減数	△24人	△31人	△35人	△6人	15人	
転入者数	91人	110人	71人	102人	96人	

(2) 地価

(単位：円/㎡)

	平成30年度 (計画前年度)	令和元年度 (1年目)	令和2年度 (2年目)	令和3年度 (3年目)	令和4年度 (4年目)	令和5年度 (5年目)
中心市街地 商業地 (市ノ町)	20,200	20,100	20,000	19,900	19,800	
中心市街地 の近接商業 地 (山形町)	17,900	17,700	17,500	17,300	17,100	

2. 令和4年度の実績等に対する中心市街地活性化協議会の意見

令和4年度の実績を見ると、3つの目標指標のうち「主要イベント入込数」と「歩行者通行量」は基準値に達しなかったものの、感染対策を講じ縮小しながらイベント等を実施することができ、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の期間延長があった令和3年度と比較すると増加した。

もう一つの指標の「中心市街地内での新規出店数」は令和4年度までで累計で21件となり、目標値を超える成果を得ることができた。更に空き店舗を活用した新規出店者の年齢層は20～40代の若い世代が増えている。新たな事業に取り組みながら、黒石の活性化にも関わられるのであればと新規出店した方は、出身地・業種・業態も多様で、人が人を呼び、新たな繋がり・景観が生まれている。

計画4年目は、令和4年7月1日に「黒石市立図書館」がオープンし年間44,000人を超える利用者があった。さらに令和4年12月に旧大黒デパート跡地の「(仮称)市民サービス施設」の新築工事に着手した。計画は概ね順調に進捗している。人口が減少するなか、短期的に来街する観光客等の「交流人口」に代わり、特定の地域と継続的に関わる「関係人口」をどのように巻き込んでいくかが課題である。引き続き、新たな(仮称)市民サービス施設の活用、商店街、観光施設、文化財等への回遊性、黒石市全体の交通の利便性が高まるような実施事業を共に検討していきたい。

将来の展望が見通しづらい情勢であるが、「黒石まちなかエリアリノベーションプラン」の具現化によりに中心市街地エリア全体の人の流れと交流が促進されることを期待し、協議会としても尽力していく。令和6年7月オープン予定の(仮称)市民サービス施設で実施するソフト事業等についても、市と更なる情報交換、連携を深め中心市街地活性化の課題をあぶり出し、中心市街地の活性化に官民連携で取り組みたい。

Ⅱ. 目標ごとのフォローアップ効果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
魅力と活力ある商業環境づくり	新規出店数 (件)	10件 (H25~29の合計値)	15件 (R1~R5の合計値)	21件 (R1~4の合計値)	A	①	①
街なかのにぎわい創出	主要イベント入込数	169,764人 (H29)	183,500人 (R5)	15,462人 (R4)	C	1	1
街なかのにぎわい創出	歩行者通行量(人/日) (平日・休日の計)	3,974人 (H29)	4,300人 (R5)	3,912人 (R4)	C	1	1

<基準値からの改善状況>

A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

①目標達成が見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調）

②目標達成が見込まれない（関連する事業等の進捗状況が順調）

1 目標達成が見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調でない）

2 目標達成が見込まれない（関連する事業等の進捗状況が順調でない）

2. 目標達成見通しの理由

<新規出店数（件）>

令和4年度は、5件（中心商店街空き店舗対策事業の交付決定件数1件、中心市街地複合宿泊施設整備事業の成果として4件）の新規出店があり、令和4年度末において累計21件となり、基準値（令和元年度から令和5年度までに総新規出店数15件）を超え、目標を達成した。

令和5年度以降は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが変わることから、中心商店街複合宿泊施設の開業効果や、中心商店街空き店舗対策事業や起業・創業支援事業等の事業を継続することで、目標値を超えることが可能と見込まれる。

<主要イベント入込数>

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が薄れる中、各イベントとも開催方法を模索しながら開催されたが、イベント開催当日の悪天候や直前の豪雨災害などの影響もあり、入込数は15,462人となり、令和3年度に引き続き、目標値183,500人を大きく下回った。

令和5年度以降は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが変わることから、街なかで開催される各種イベントの情報発信や人的及び金銭的支援等を継続し、官民一体となってイベントを盛り上げ観光客の誘客に努めることで、目標達成は可能と見込まれる。

＜歩行者通行量（人/日）（平日・休日の計）＞

令和4年度は、3,912人の歩行者通行量となり、昨年度より812人増加、基準値より62人の減少となり、目標値4,300人を下回った。

増加の要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響が薄れてきていることから、市民等がまちなかを訪れる機会が徐々に増えてきたことが考えられる。

令和5年度以降は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが変わり、「中心商店街複合宿泊施設」、「市民サービス施設」、「市立図書館」、「前町野添線電線共同溝整備事業（電線類の地中化）」、「街なみ環境整備事業（道路の美装化等）」、「伝統的建造物群基盤強化事業」等の効果の発現により、来街者の増加が期待できることから、目標達成は可能と見込まれる。

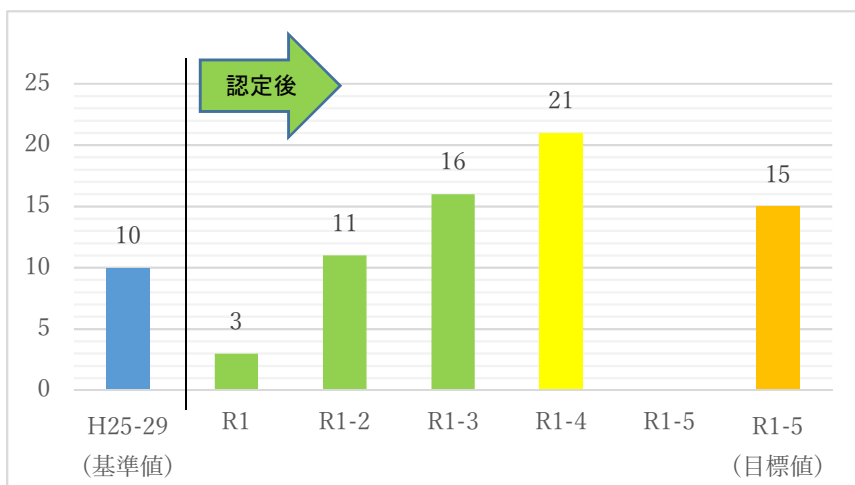
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

見通しに変更なし

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

<新規出店数（件）> ※目標設定の考え方 認定基本計画 P74～P75 参照

●調査結果と分析



年	（件）
H25～H29	10
合計値	（基準年値）
R1	3
R1～2	11
R1～3	16
R1～4	21
R1～5	
R1～R5	15
合計値	（目標値）

※調査方法：黒石市中心商店街空き店舗対策事業補助金の交付決定件数

中心市街地複合宿泊施設整備事業

新たな活性化事業等による効果

※調査月：令和5年3月

※調査主体：黒石市

※調査対象：中心市街地内での新規出店

〈分析内容〉

新規出店数（件）の増加に向けた各事業については、概ね予定どおり実施し、5件が新規出店した。

「中心商店街空き店舗対策事業」では、令和4年度の新規出店（交付決定）は1件となったが、出店を後押しするために補助金支出を担保することを念頭において、出店希望者（事業者）と事前に、出店内容や資金計画の相談等を継続して行ったほか、出店後もインキュベーションマネージャー等による経営相談を行っていることが成果として現れたものと考えている。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 中心商店街空き店舗対策事業（黒石市）

事業実施期間	平成26年度～【実施中】
事業概要	中心商店街の空き店舗を活用して出店する事業者等に対し、店舗改修費等の補助金を交付するほか、出店後の経営状況等のフォローアップを実施する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和元年度～令和5年度）
事業目標値・最新値及び推進状況	【事業目標値】 当事業及び「創業・起業支援事業」による新規出店数の目標値は、年2件の新規出店及び令和元年度から令和5年度までの総新規出店数10件を

	見込んでいる。 【最新値】 令和4年度は1件の新規出店（交付決定）があり、令和元年度から令和4年度までの総新規出店数（交付決定）が8件となり、目標値（5年間で10件）を達成できる見込みである。 当事業及び「創業・起業支援事業」では、出店を後押しするために補助金支出を担保することを念頭において、出店希望者（事業者）と事前に、出店内容や資金計画の相談等を継続して行ったほか、出店後もインキュベーションマネージャー等による経営相談を行っていることが成果として現れたものと考えている。
事業の今後について	「創業・起業支援事業」と併せて継続実施することで新規出店を促し、空き店舗の解消、商店街のにぎわい創出及び活性化につなげる。

②. 創業・起業支援事業（黒石市）

事業実施期間	平成30年度～【実施中】
事業概要	相談ルームの開設やセミナーの開催などにより、創業・起業希望者への支援を行う。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和元年度～令和5年度）
事業目標値・最新値及び推進状況	【事業目標値】 当事業及び「中心商店街空き店舗対策事業」による新規出店数の目標値は、年2件の新規出店及び令和元年度から令和5年度までの累計新規出店数10件を見込んでいる。 【最新値】 令和4年度は、開催を予定していた創業セミナーが開催定員に達しなかったため中止となったが、相談ルームを24回開催したほか、県内の創業・起業支援情報を周知した。 当事業及び「中心商店街空き店舗対策事業」では、出店を後押しするために補助金支出を担保することを念頭において、出店希望者（事業者）と事前に、出店内容や資金計画の相談等を継続して行ったほか、出店後もインキュベーションマネージャー等による経営相談を行っていることが成果として現れたものと考えている。
事業の今後について	「中心商店街空き店舗対策事業」と併せて継続実施することで創業・起業者をフォローアップし、事業の安定と発展を下支えする。

③. 中心市街地複合宿泊施設整備事業（こみせ通り商店街振興組合、逢春株式会社）

事業実施期間	令和元年度 【事業完了】
事業概要	横町に宿泊施設、多目的ホール及び、売店等を整備し、市民や観光客が交流・滞在する場を創出する。街なか観光の振興、商店街の賑わいの創出により中心市街地の活性化を図るうえで必要な事業である。

国の支援措置名及び支援期間	商店街活性化・観光消費創出事業（中小企業庁） （令和元年度）
事業目標値・最新値及び推進状況	<p>【事業目標値】</p> <p>当事業による新規出店数の目標値は、中心市街地複合宿泊施設整備の1件である。また、中心市街地複合宿泊施設整備後の歩行者通行量が令和5年度において140人/日の増加を見込んでいる。</p> <p>【最新値】</p> <p>当事業は、令和2年3月に補助事業が完了し、令和2年4月からのオープンを目指していたが、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響もあり、令和2年5月にプレオープン、令和2年6月からの本格オープンとなった。</p>
事業の今後について	宿泊施設の稼働、また情報発信と商店街と連携したソフト事業も継続実施することで、来街者の増加と滞在時間の延伸を図り、こみせ通り及び横町の活性化を推進する。

④. 弘前圏域空き家・空き地バンク連絡事業（不動産団体・金融機関・弘前圏域定住自立圏構成市町村・黒石市）

事業実施期間	平成30年度～令和3年度【実施中】
事業概要	弘前圏域で「空き家・空き地バンク」を運営することで中心市街地内においても空き家・空き地の利活用の促進を図り、活性化につなげる。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
目標値・最新値及び推進状況	<p>【事業目標値】</p> <p>当事業及び「中心商店街空き店舗対策事業」、「創業・起業支援事業」、「中心市街地複合宿泊施設整備事業」等の相乗効果による新規出店数の目標値は、令和元年度から令和5年度までの総新規出店数4件を見込んでいる。</p> <p>【最新値】</p> <p>弘前圏域空き家・空き地バンクへ空き地6件、空き家4件が物件登録されており、登録件数を増やすために黒石りんごまつりでのPRポスターの掲示や市広報への掲載等により周知を行うほか、市内不動産業者に所有物件の積極的な登録について依頼、市内店舗でのPRポスターの掲示、全国版空き家バンクに参画するなど利用促進に努めた。</p>
事業の今後について	継続実施することで、遊休資産の活用機会を促し、居住者及び来街者の増加と新たな人の流れを生み出し、活性化につなげる。

●目標達成の見通し及び今後の対策

令和4年度は、5件（「中心商店街空き店舗対策事業」の交付決定件数1件、「中心市街地複合宿泊施設整備事業」等の相乗効果として4件）の新規出店があり、令和元年度から令和4年度までの総新規出店数が21件となり、目標値（令和元年度から令和5年度までの総新規出店数が15件）を達成し

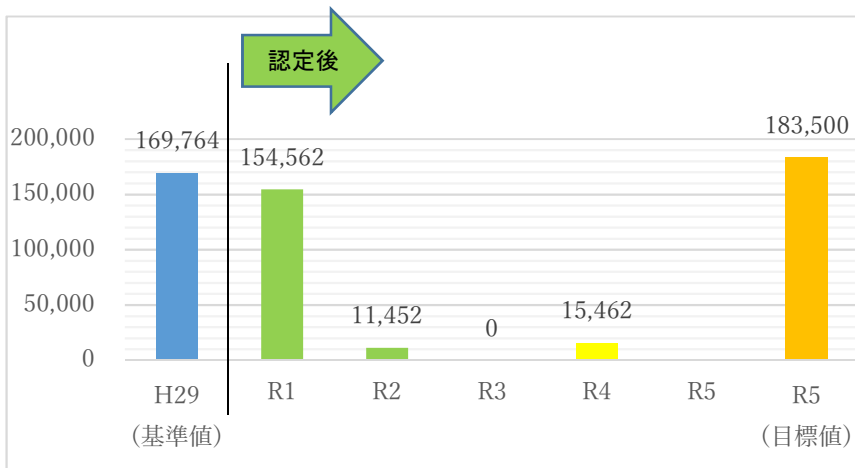
た。

今後は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況によるが、空き店舗に新規出店を希望する小売業者等に対して、当該事業による補助制度の活用と周知を図るほか、「起業・創業支援事業」により起業相談や経営相談等を一体的に進め、目標値をさらに上回る成果獲得に取り組む。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

<主要イベント入込数> ※目標設定の考え方 認定基本計画 P76～P79 参照

●調査結果と分析



年	(人)
H29	169,764 (基準年値)
R1	154,562
R2	11,452
R3	0
R4	15,462
R5	183,500 (目標値)

※調査方法：中心市街地内での主要イベント来場者数を集計

※調査月：令和5年3月

※調査主体：黒石市

※調査対象：黒石よされ、黒石ねぶた祭り、黒石こみせまつり、クラシックカークラブ青森ミーティング in こみせ（新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止）

※令和4年度は黒石ねぶた祭りの入込数については、観客を通行人とみなしたためカウントしていない（主催者）。

<分析内容>

主要イベント入込数の増加に向けた各事業については、開催方法を模索しながら3年ぶりの開催となった。黒石よされについては、当日の悪天候と直前の豪雨災害の影響により入込数は伸びなかったが、黒石こみせまつりは新型コロナウイルス感染症拡大前の水準に近い入込数となった。実績が目標値を下回ることにについては例年と異なる社会環境からの影響が非常に大きいため、例外的な成果と考えている。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 街なかイベント支援事業（黒石市）

事業実施期間	昭和61年度～【実施中】
事業概要	「黒石よされ、黒石ねぶた祭り、黒石こみせまつり、黒石りんごまつり」等の主催者に対し、その費用の一部を補助するほか、人的支援等を行い、イベント内容を充実させ、にぎわいの創出と交流人口の拡大に繋げる。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和元年度～令和5年度）
事業目標値・最新値及び推進状況	【事業目標値】 当事業による目標値は、基準値169,764人の10%を事業効果として、令和5年度において16,976人の入込増を見込んでいる。

	<p>【最新値】</p> <p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が薄れるなか、各イベントとも開催方法を模索しながらの開催であった。黒石よされは当日の悪天候と直前の豪雨災害により入込数は伸びなかったが3年ぶりに開催できた。黒石ねふた祭りも3年ぶりの開催となったが、参加台数は令和元年の53台から13台に落ち込んだ。黒石こみせまつり、黒石りんごまつりは新型コロナウイルス感染症拡大前の水準に近い入込数となった。</p>
事業の今後について	<p>入込数を新型コロナウイルス感染症拡大前の水準に戻し、伸長させることが課題となる。令和5年度は市の重点事業として参加者及び入込数の回復に努める。</p>

②. 街なか情報発信事業（黒石市）

事業実施期間	平成27年度～【実施中】
事業概要	<p>商店街マップや情報誌、SNS、観光アプリ等で情報を発信し、市民及び観光客の街なかへの関心を高める。また、インバウンド観光客の対応のため、無料Wi-Fi設置の促進と、英語圏、主にオーストラリアをターゲットとした誘客を図る。</p>
国の支援措置名及び支援期間	<p>中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和元年度～令和5年度）</p>
事業目標値・最新値及び推進状況	<p>【事業目標値】</p> <p>当事業による目標値は、基準値169,764人の5%を事業効果として、令和5年度において8,488人の入込増を見込んでいる。</p> <p>【最新値】</p> <p>令和4年度は、国際交流員による日英表記での投稿や外国人目線での情報をSNS等で情報発信したほか、中町こみせ通りにもう一箇所公衆無線LANを整備し、グーグルマップ等への施設情報の英語及び日本語での登録などツールに合わせた情報発信に努めた。</p>
事業の今後について	<p>新型コロナウイルス感染症収束後に即座に反転攻勢が出来るよう体制固めをするとともに日英での情報発信を更に強化し、主にオーストラリアをターゲットとした誘客促進を図る。</p>

③. 黒石よされブラッシュアップ事業（黒石市）

事業実施期間	平成30年度～【実施中】
事業概要	<p>日本三大流し踊りの一つに数えられる黒石よされへの参加者増と知名度アップのため、浴衣の無料貸し出し・着付け、首都圏等で開催されるイベントへの参加、独自で県外イベントに参加するPR団体に対し、経費の一部を補助することにより、観光誘客の推進と市内外の交流人口の拡大を図る。</p>
国の支援措置名及び	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）

支援期間	(令和元年度～令和5年度)
事業目標値・最新値 及び推進状況	<p>【事業目標値】 当事業による目標値は、基準年の黒石よされ入込数 80,200 人の 5%を事業効果として、令和5年度において4,010 人の入込増を見込んでいる。</p> <p>【最新値】 令和4年度は東京都中野区で開催された「なかの東北応援まつり」に踊り子 15 名が上京し参加した。イベントでの交流を通じ、東京都中野区と交流連携協定を締結した。</p>
事業の今後について	首都圏での知名度向上を図り、青森県まで足を伸ばしてもらおうきっかけとする。中野区だけでなく、各所での PR に努める。

●目標達成の見通し及び今後の対策

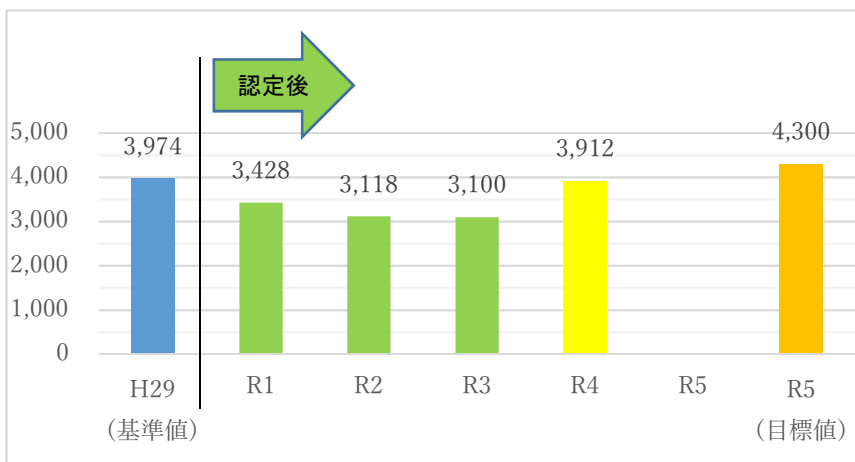
令和4年度は、開催方法を模索しながら3年ぶりの開催となったが、天候等の影響もあり、入込数は目標値を下回る結果となった。

今後は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上に位置づけも変わることから、街なかで開催される各種イベントの情報発信や人的及び金銭的支援等を継続し、官民一体となってイベントを盛り上げ観光客の誘客に努め、目標達成に取り組む。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

<歩行者通行量（平日・休日の計）> ※目標設定の考え方 認定基本計画 P80～P83 参照

●調査結果と分析



年	(人)
H29	3,974 (基準年値)
R1	3,428
R2	3,118
R3	3,100
R4	3,912
R5	4,300 (目標値)

※調査方法：9月の平日及び休日（各1日）それぞれ、8時から17時45分まで目視で実測

※調査月：令和4年9月

※調査主体：黒石市、黒石商工会議所

※調査対象：中心市街地内の6調査地点（調査地点1：一番町【駅前】、調査地点2：上町、調査地点3：一番町【信金前】、調査地点4：横町、調査地点5：中町、調査地点6：市ノ町）における歩行者

※調査地点



(単位：人)

	平成 29 年度 (基準年)	令和元年度 (1 年目)	令和 2 年度 (2 年目)	令和 3 年度 (3 年目)	令和 4 年度 (4 年目)	令和 5 年度 (5 年目)
調査地点 1	1,252	1,080	844	852	670	
調査地点 2	438	292	268	338	376	
調査地点 3	442	540	512	294	470	
調査地点 4	416	372	342	446	354	
調査地点 5	864	650	760	642	1,628	
調査地点 6	562	494	392	528	414	
合計	3,974	3,428	3,118	3,100	3,912	

〈分析内容〉

調査を行った日は両日とも市街地でのイベントは開催されていなかったが、令和 3 年度実績を 812 人上回る結果となった。

調査地点 5「中町こみせ通り」の歩行者通行量が特に増加していることから、新型コロナウイルス感染症の影響が薄れ、イベントが開催されていなくてもまちなかを訪れる機会が増えてきているものと考えられる。

また、指標に掲げる歩行者通行量増加分を収容する「市立図書館整備事業」及び「市民サービス施設整備事業」の拠点施設整備は、「市立図書館整備事業」は令和 4 年度に完了したが「市民サービス施設整備事業」については、令和 5 年度以降に完了するため、令和 4 年度末時点では、その効果を見込めないことが挙げられる。

すでに完了している中心市街地における重要なハード整備となる「中心市街地複合宿泊施設整備」、「前町野添線電線共同溝整備事業（電線類の地中化）」、「街なみ環境整備事業（道路の美装化等）」及び「市立図書館整備事業」によりまちなかを訪れる人が増え、期待された効果が少しずつ現れていると考えている。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 市立図書館整備事業（黒石市）

事業実施期間	令和元年度～令和 4 年度【事業完了】
事業概要	黒石公民館駐車場に、新たに市立図書館を建設し、様々な世代の憩いの場として活用する。これまで当市になかった図書館を建設することで、図書館を利用する様々な世代の来街者を増やし、回遊を生み出し、にぎわいの創出に寄与するための事業である。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業（国土交通省） (令和 2 年度～令和 4 年度)
事業目標値・最新値及び推進状況	【事業目標値】 当事業による目標値は、市立図書館整備後の歩行者通行量が令和 5 年度において 85 人/日の増加を見込んでいる。 【最新値】

	新築工事が令和4年5月末に完成し、令和4年7月にオープンした。開館時間の特別延長や市内学校への出張説明会などを図書館利活用促進事業を行い、年間入館者数が44,318人（令和5年3月末）と目標と36,300人を超えた。
事業の今後について	令和4年7月1日にオープンし事業完了した。

②. 市民サービス施設整備事業（黒石市）

事業実施期間	令和元年度～令和5年度【実施中】
事業概要	旧大黒デパート建物を解体し、市役所窓口業務等を含む市民サービス関連機能や交流拠点機能などを含む複合施設、広場を整備し、中心市街地の新たな人の流れを創出する。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業（国土交通省） （令和2年度～令和5年度）
事業目標値・最新値及び推進状況	【事業目標値】 当事業による目標値は、市民サービス施設整備後の歩行者通行量が令和5年度において156人/日の増加を見込んでいる。 【最新値】 （仮称）市民サービス施設の設計が完了し、新築工事に着手し、進捗状況は順調である。
事業の今後について	社会情勢を注視しながら、（仮称）市民サービス施設の令和6年度のオープンを目指す。

③. 中心市街地複合宿泊施設整備事業（再掲）（こみせ通り商店街振興組合、逢春株式会社）

事業実施期間	令和元年度 【事業完了】
事業概要	横町に宿泊施設、多目的ホール及び、売店等を整備し、市民や観光客が交流・滞在する場を創出する。街なか観光の振興、商店街の賑わいの創出により中心市街地の活性化を図るうえで必要な事業である。
国の支援措置名及び支援期間	商店街活性化・観光消費創出事業（中小企業庁） （令和元年度）
事業目標値・最新値及び推進状況	【事業目標値】 当事業による目標値は、中心市街地複合宿泊施設整備後の歩行者通行量が令和5年度において140人/日の増加を見込んでいる。 【最新値】 令和2年3月に補助事業が完了し、令和2年4月からのオープンを目指していたが、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響もあり、令和2年5月にプレオープン、令和2年6月からの本格オープンとなった。
事業の今後について	宿泊施設の稼働、また情報発信と商店街と連携したソフト事業も継続実施することで、来街者の増加と滞在時間の延伸を図り、こみせ通り及び横町の活性化を推進する。

④. 前町野添線電線共同溝整備事業（黒石市、電線管理者）

事業実施期間	平成 23 年度～令和 2 年度【事業完了】
事業概要	<p>本路線は、「重要伝統的建造物群保存地区」に指定されている地区内にあり、伝統的な「こみせ」の保存・修景整備とともに、こみせ通りとしての一体的な景観の向上を図る必要のある重要な路線である。</p> <p>当事業は、縦横に張りめぐらされた電線類を地中化することにより、こみせ通りの観光資源としての価値を高めることで、観光客を増やし、にぎわいを創出させるため必要な事業である。</p>
国の支援措置名及び支援期間	<p>令和元年度 社会資本整備総合交付金（道路事業）</p> <p>令和 2 年度 無電柱化推進計画事業</p>
事業目標値・最新値及び推進状況	<p>【事業目標値】</p> <p>当事業による目標値は、「前町野添線電線共同溝整備事業」、「街なみ環境整備事業」、「松の湯交流館管理運営事業」の効果と併せて、歩行者通行量が令和 5 年度において 130 人/日の増加を見込んでいる。</p> <p>【最新値】</p> <p>認定基本計画に掲載された事業は、令和 2 年度で完了した。</p>
事業の今後について	令和 4 年度から、松の湯交流館の交差点北側 L=100m の区間において、無電柱化の整備を行う。

⑤. 街なみ環境整備事業（黒石市）

事業実施期間	平成 30 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	<p>「こみせ」などの伝統的な景観の保全・形成並びに、街なかを回遊できる歩行者ネットワーク構築にあたり、道路の美装化、景観の復元を行うなど、歴史的風致の維持・向上を図る整備が必要である。また、ユニバーサルデザインも取り入れ、魅力ある歩行者空間の確保を図るものである。</p>
国の支援措置名及び支援期間	<p>社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）</p> <p>（令和元年度～令和 5 年度）</p>
事業目標値・最新値及び推進状況	<p>【事業目標値】</p> <p>当事業による目標値は、「前町野添線電線共同溝整備事業」、「街なみ環境整備事業」、「松の湯交流館管理運営事業」の効果と併せて、歩行者通行量が令和 5 年度において 130 人/日の増加を見込んでいる。</p> <p>【実績値】</p> <p>令和 4 年度は、外観修景助成（黒石市歴史的景観形成事業費補助金）の募集を令和 4 年 4 月 1 日から開始し、1 件の交付決定があった。</p>
事業の今後について	令和 5 年度以降も、引き続き外観修景助成を実施し、環境整備（快適な歩行者空間の確保、生活環境の向上、回遊性の向上）を進め、賑わいの創出及び活性化につなげる。

⑥. 松の湯交流館管理運営事業（黒石市）

事業実施期間	平成 27 年度～【実施中】
事業概要	重要伝統的建造物群保存地区に存在する松の湯交流館をコミュニティ及び観光・まち歩きの拠点として活用することで、中心市街地の賑わいの創出と交流人口の増加を図るうえで必要な事業である。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和元年度～令和 5 年度）
事業目標値・最新値及び推進状況	【事業目標値】 当事業による目標値は、「前町野添線電線共同溝整備事業」、「街なみ環境整備事業」、「松の湯交流館管理運営事業」の効果と併せて、歩行者通行量が令和 5 年度において 130 人/日の増加を見込んでいる。 【実績値】 令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、自主事業が年間 67 回の実施となり、延べ 349 人の参加となった。感染対策を講じながらの多種多様な自主事業を展開した。
事業の今後について	新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら実施することで、観光の拠点、交流の拠点として最新の情報をわかりやすく発信し、多種多様な事業を展開することにより、中心市街地のにぎわいの創出及び活性化につなげる。

⑦. 回遊バス運行事業（黒石市）

事業実施期間	平成 10 年度～【実施中】
事業概要	回遊バスを継続して運行し、中心市街地への効率的なバス路線の検討・見直しを図る。また、バス停や待合所の多言語化のほか、店舗の前へバス停を設置するなどの取り組みを行い、中心市街地の商業環境の向上、街なか観光の振興、来街者の利便性の向上、街なか居住の促進を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び推進状況	【事業目標値】 当事業では、回遊バスの利便性を高めることで、中心市街地内の回遊性を高め、歩行者通行量の増加を見込んでいる。 【実績値】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により乗車人数が例年より大幅に減少した。また、令和元年度に策定した黒石市地域公共交通網形成計画に基づき、令和 4 年 10 月に路線再編を実施した。
事業の今後について	継続実施することで、中心市街地を訪れるための交通環境の維持・向上を図るほか、乗客の利用環境の改善に努め、活性化につなげる。

●目標達成の見通し及び今後の対策

令和 4 年度は、3,100 人の歩行者通行量となり、昨年度より 812 人の増加、基準値より 62 人の減少となり、目標値 4,300 人を下回った。

増加の要因としては、コロナウイルス感染症の影響が薄れてきていることから、市民等がまちなかを訪れる機会が徐々に増えていることが考えられる。

令和5年度以降は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが変わり、「中心商店街複合宿泊施設整備事業」、「市民サービス施設整備事業」、「市立図書館整備事業」、「前町野添線電線共同溝整備事業（電線類の地中化）」、「街なみ環境整備事業（道路の美装化等）」、「伝統的建造物群基盤強化事業」等の効果の発現により、来街者の増加が期待できることから、目標達成は可能と見込まれる。